

### (3) トータルコスト低減に向けた営農支援

生産・加工・流通段階でのコスト低減に向けた各種方策に取り組む。

- 農業機械等の導入に対するリースやレンタルの仕組みを創設し、償還圧を軽減する
- 情報収集により得られた新技術の実効性、収益性等を検証し、J A・生産者へ普及を図る  
新技術：水稲直播、GPS等のIT活用、営農作業の各種省力化技術、省力的作物（農作業の大幅な機械化が図れる作物）、植物工場等
- 良質自給飼料の増産と適正な飼養管理による酪農畜産の生産性向上を図るため、専門技術への対応を強化する
- 代替エネルギーの導入に向け、コスト検証と提案を行う
- J A間での施設共同利用を仲介し、コスト低減、産地形成に繋げる
- 物流機能の安定化と物流コストのさらなる低減に向けて、道内外において中継拠点の整備や一貫パレチゼーション輸送の推進、帰り荷取得による運賃低減を目指した道外企業との連携などに取り組む



レンタル機を使用した人参収穫作業の様子



ほくれん丸

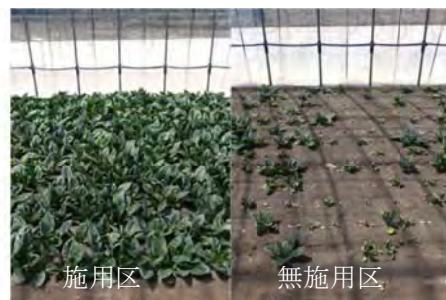
### (4) 収益向上に向けた試験研究の実施

生産者所得の向上に向けた各種試験研究を強化する。

- 需要が高まる加工用品種を開発・選抜し、有望品種の普及を行う
- 農産物の安定生産に向けた新たな栽培技術や、省力化に向けた作業体系を研究する
- 収益性の高い新品種の導入に向けた栽培体系を研究する
- 農畜産物の機能性に着目した調査研究をし、新たな価値を創造する
- 長期保管・輸送期間中の貯蔵性向上や品質劣化対策技術を確立する



加工用人参 「紅ぞろい」



転炉スラグ施用有無による生育差